



2026年7月28日
第10号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第2号

南武線と鶴見線乗務業務の一元化 に関する解明申し入れ 本日提出！①

JR東労組横浜地本は、昨年12月25日に会社側より提案された「統括センターにおける業務執行体制の見直しについて」組合員と議論を行ってきました。5月下旬に職場において、体制の見直しに伴う業務の一元化に移行するにあたっての説明会が行われましたが、出席した組合員や社員からは「いつも急な話だ」「融合も始まったばかりで時期尚早ではないか」「当初は乗務員のみ一元化だったのではないか」「鶴見線オフィスが無くなると聞いた」「説明会では『検討中』としか答えられないため、よくわからない」等、多くの不安の声が挙がっています。私たちJR東労組横浜地本は、安全第一の職場をつくり上げていくことに変わりはありません。組合員・社員の安全・健康と生活を守り抜くため、会社側の明確で具体的な回答と真摯な労使議論を求め、37項目の解明申し入れを本日提出しました。

1. 業務の一元化を行う経緯を明らかにすること。
2. 業務の一元化に伴うメリットを明らかにすること。
3. 業務の一元化に伴うデメリットを明らかにすること。
4. 業務の一元化に伴う社員数の変更があるのか明らかにすること。
5. 業務の一元化に伴う中原乗務の業務内容別の出面数を示すこと。
6. 業務の一元化に伴う管理者数の変更があるのか明らかにすること。
7. 業務の一元化に伴う指導員の体制について明らかにすること。
8. 出勤箇所について、中原乗務を主とされているが、現・鶴見乗務全社員も対象なのか明らかにすること。
9. 乗務員の主な出勤箇所は中原乗務とされているが、退勤箇所を明らかにすること。
10. 2026年9月から、中原乗務の乗務員が南武支線の線見を行うとされているが、なぜ別枠で行うのか明らかにすること。
11. 2026年9月から行われる中原乗務の乗務員による南武支線の線見スケジュールを具体的に明らかにすること。
12. 現在の鶴見乗務の乗務員が南武線の単独乗務開始後、鶴見線担当になることに変更はないのか明らかにすること。
13. 中原乗務の乗務員が鶴見線の単独乗務開始後、そのまま鶴見線担当を継続する理由を明らかにすること。
14. 現養成スケジュールでは南武線担当の乗務員が減少し、休日出勤が増加すると懸念している。この認識について、明らかにすること。
15. 乗務員を2交番にする理由を明らかにすること。

次号②に続く